2017 年 6 月 9 日

岡山県感染症週報 2017 年 第 22 週（5 月 29 日 ～ 6 月 4 日）

◆2017 年　第 22 週（ 5 / 29 ～ 6 / 4 ）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第 20 週　2 類感染症　結核　3 名（30 代　女　1 名、70 代　女　1 名、80 代　男　1 名）
第 21 週　2 類感染症　結核　1 名（80 代　男）
　　4 類感染症　レジオネラ症　1 名（90 代　女）
第 22 週　2 類感染症　結核　2 名（80 代　男　1 名・女　1 名）
　　5 類感染症　アメーバ赤痢　1 名（50 代　男）
　　侵襲性肺炎球菌感染症　1 名（60 代　女）
　　梅毒　2 名（10 代　男　1 名、30 代　女　1 名）

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

○手足口病は、県全体で 94 名（定点あたり 0.81 → 1.74 人）の報告があり、前週より大きく増加しました。
○咽頭結膜熱は、県全体で 34 名（定点あたり 0.57 → 0.63 人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。
○流行性角結膜炎は、県全体で 18 名（定点あたり 1.92 → 1.50 人）の報告があり、前週より減少しました。
○感染性胃腸炎は、県全体で 350 名（定点あたり 6.26 → 6.48 人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第 23 週　速報】

○岡山市内の小学校 1 校で、インフルエンザによるとみられる臨時休業がありました。（6 月 8 日）

---

1. 手足口病は、県全体で 94 名（定点あたり 0.81 → 1.74 人）の報告があり、前週より大きく増加しました。地域別では、真庭地域（4.50 人）、備前地域（2.60 人）、岡山市（1.86 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。特に真庭地域（0.50 → 4.50 人）、備前地域（0.50 → 2.60 人）、倉敷市（0.45 → 1.82 人）では、前週より大きく増加しました。この感染症は、夏に乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。感染している人の咳やくしゃみで、飛び散るしぶきを浴びてウイルスを吸い込むことや、便の中に排泄されたウイルスが、手指などを介して口に入ることによって感染します。症状は、軽度の発熱とともに、口の粘膜、手のひら、足の甲や裏に 2～3mm の水疱性発しんが出現するのが特徴です。近年では、2011 年、2013 年、2015 年に県内で大きな流行がみられています。今後の県内の発生状況に注意するとともに、患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い・手指の消毒を励行するなど、感染予防に努めてください。

2. 咽頭結膜熱は、県全体で 34 名（定点あたり 0.57 → 0.63 人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去 10 年間の同時期と比較して高いレベルで推移しています。地域別では、備中地域（0.71 → 1.43 人）で前週より大きく増加し、美作地域（1.00 人）、岡山市（0.71 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、アデノウイルスに感染することによる小児の急性感染症です。症状は、発熱、のどの痛み、結膜の充血、眼痛、眼脂（目やに）などです。患者との接触を避けること、流行時に手洗いやうがいを実施することなどが予防法となります。今後の県内の発生状況に注意するとともに、感染予防と拡大防止に努めてください。

3. 流行性角結膜炎は、県全体で 18 名（定点あたり 1.92 → 1.50 人）の報告があり、前週より減少しました。患者数は減少したものの、過去 10 年間の同時期と比較して高いレベルで推移しています。地域別では、倉敷市（2.50 人）、備中地域（2.00 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、アデノウイルスによる眼の感染症で、8～14 日の潜伏期間の後、まぶたの浮腫、結膜の充血、眼脂（目やに）、流涙、眼痛などの症状を呈します。有効な薬剤はなく、対症療法による治療が行なわれます。このウイルスは、感染力が強く、人と接触する機会の多い家庭や職場、病院などで流行します。感染した際には、眼を触らないよう気を付け、触ったら石鹸と流水でよく手を洗う、タオルや洗面器などの共用は避ける、家庭内での入浴は最後にするなど、拡大防止に努めてください。

4. 感染性胃腸炎は、県全体で 350 名（定点あたり 6.26 → 6.48 人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、岡山市（9.79 人）、備北地域（7.75 人）、備前地域（6.90 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など詳しくは、**「感染性胃腸炎週報」**及び岡山県感染症情報センターホームページ『2016/2017 年　感染性胃腸炎情報』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★
手足口病		★★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎		★	流行性角結膜炎		★★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		＊感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ：大幅な増加 ：増加 ：ほぼ増減なし ：大幅な減少 ：減少

大幅：前週比100%以上の増減　　増加･減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。（発生数が多いことを示すものではありません。）

空白：発生なし　★：わずか　★★：少し　★★★：やや多い　★★★★：多い　★★★★★：非常に多い

蚊が媒介する感染症に注意しましょう！

蚊が媒介する感染症は、ウイルスなどの病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症です。世界的に多く発生しており、特に熱帯・亜熱帯地域で広く流行しています。主な感染症には、**デング熱**、**ジカウイルス感染症**、**チクングニア熱**、**日本脳炎**、**マラリア**、**ウエストナイル熱**などがあります。近年では、中南米、アフリカ、東南アジアなどでジカウイルス感染症が流行しており、特に妊婦及び妊娠の可能性のある方はご注意ください。

日本では、海外渡航などの増加により、海外で感染し、帰国後発症する輸入症例が増加しており、2016 年には、海外からの帰国者が、デング出血熱を発症し、死亡する事例が発生しました。また、2014 年には、デング熱の国内感染例が報告されており、媒介する蚊が冬を越せないため、ウイルスの国内への定着はないと考えられますが、今後も注意が必要です。

【蚊が媒介する感染症の予防策】

日本脳炎はワクチンによる予防接種、マラリアは医師の処方による予防内服が有効ですが、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、ウエストナイル熱には、ワクチンも予防薬もありません。
感染を防ぐためには、媒介する蚊に刺されないこと、蚊の発生を抑えることが重要です。

蚊に刺されない

- 長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出をなるべく避ける。
- 素足でのサンダル履きを避ける。
- 白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ。（蚊は色の濃いものに近づく傾向がある）
- 蚊取り線香などを使って蚊を近づけない。
- 露出する部分には虫除けスプレーなどを使い、蚊を寄せ付けないようにする。

蚊を発生させない

家の周囲の水たまりの除去・清掃をしましょう！
下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう！

（厚生労働省）

蚊媒介感染症（厚生労働省）
「蚊防除対策ガイドライン」を作成しました（岡山県 保健福祉部 健康推進課）

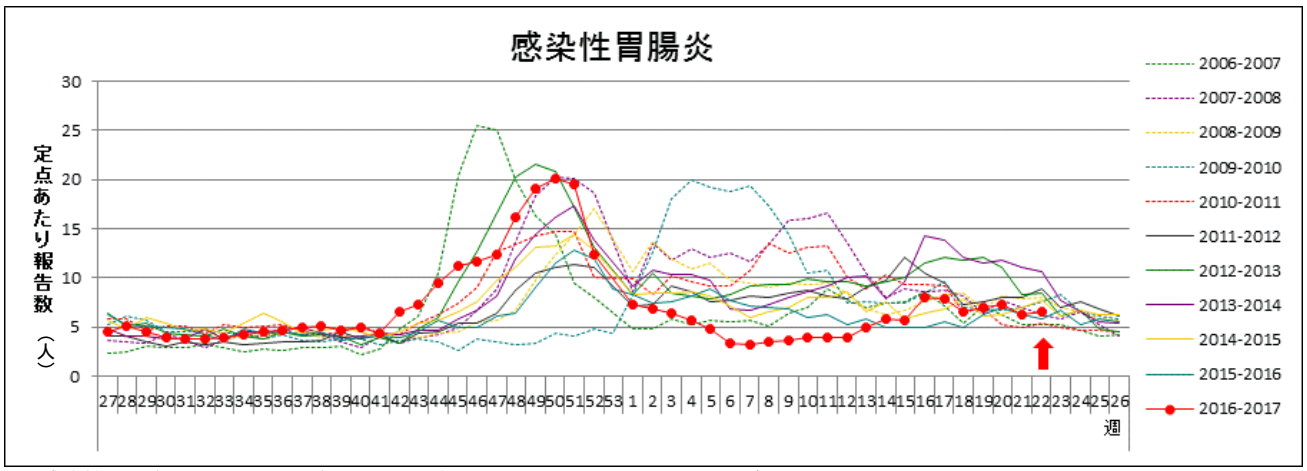
ポスター（厚生労働省）
【用心編】感染症の運び屋！ 蚊からバリアーで身を守れ！
【発生源編】ジカ熱・デング熱の運び屋ヒトスジシマカの発生源を叩け！
【学校編】ジカ熱・デング熱の感染源 ヒトスジシマカに注意！

2017 年 6 月 9 日

感染性胃腸炎週報　2017 年 第 22 週　（5 月 29 日 ～ 6 月 4 日）

➢ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で 350 名（定点あたり 6.48 人）の報告がありました（54 定点医療機関報告）。

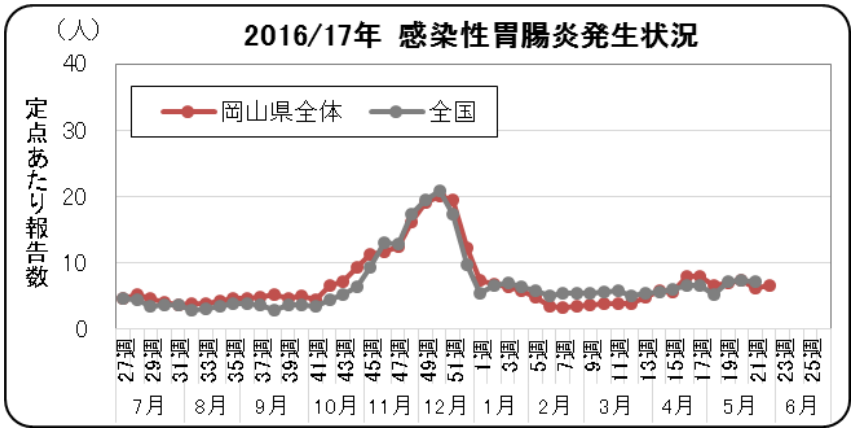


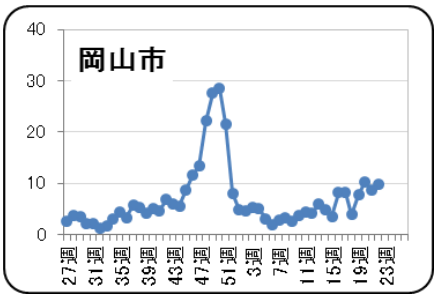
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

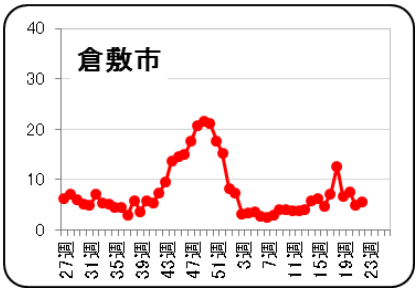
感染性胃腸炎は、県全体で 350 名（定点あたり 6.26 → 6.48 人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。

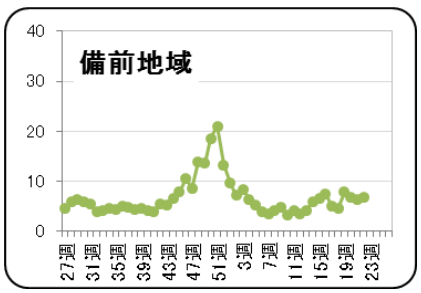
例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎が増加します。特にトイレの後や調理・食事の前には、石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防に努めてください。

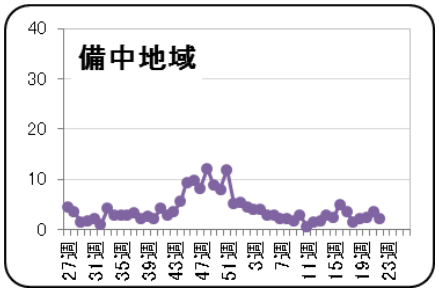
◆地域別･年齢別発生状況

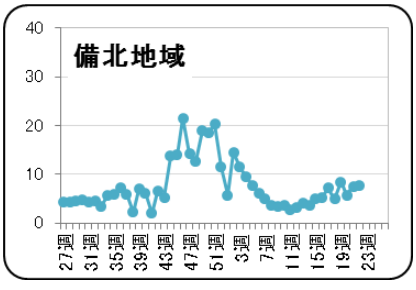


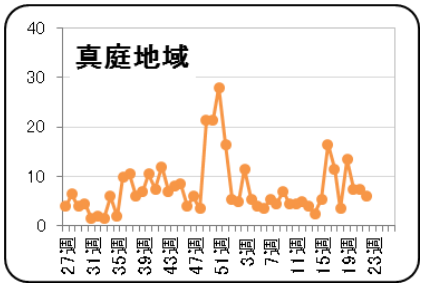


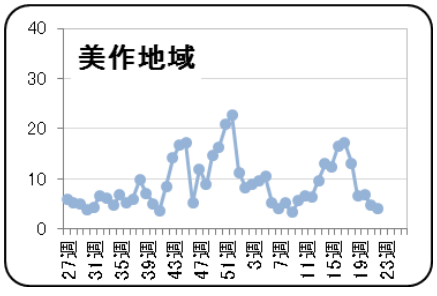


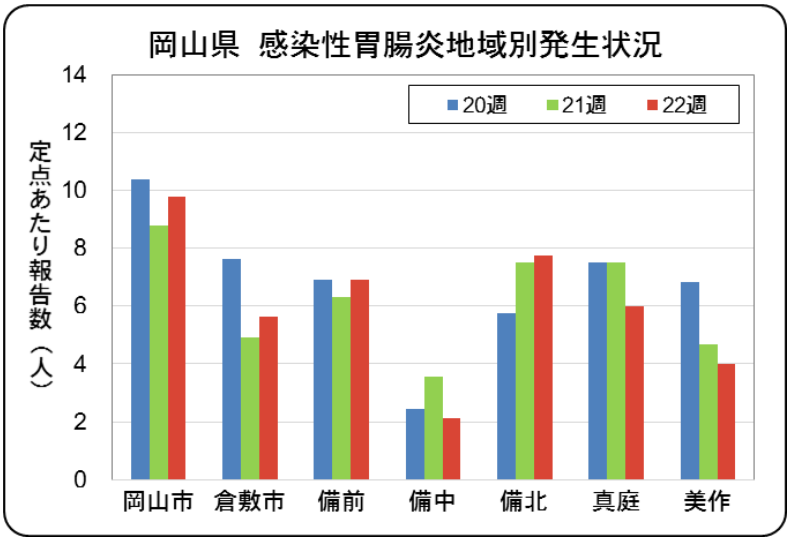


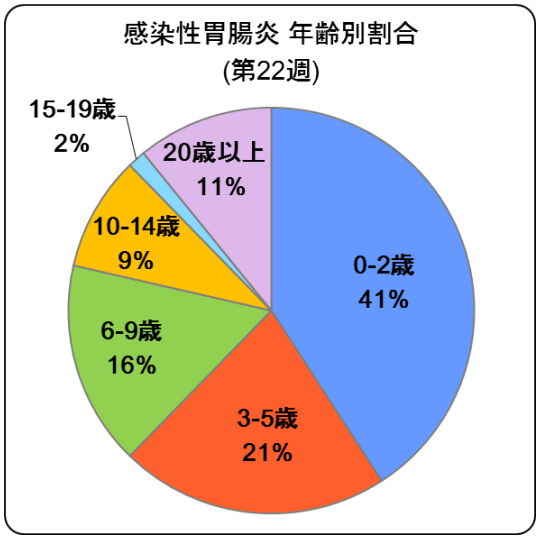












地域別では、岡山市（9.79 人）、備北地域（7.75 人）、備前地域（6.90 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。第 22 週年齢別割合では、0－2 歳 41%、3－5 歳 21%、6－9 歳 16% の順で高くなっています。

◆◆◆ 食中毒予防の 3 原則◆◆◆

➢ 「清潔」（菌をつけない）

・調理前、食事前、用便後には、手をよく洗いましょう。
・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄消毒を行いましょう。

➢ 「迅速・冷却」（菌を増やさない）

・生鮮食品、調理したものは、できるだけ早く食べましょう。
・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。

➢ 「加熱」（菌をやっつける）

・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
・特に、食肉等は中心部まで十分に火を通しましょう。
（食肉の生食は避けましょう。）

食中毒予防の 3 原則（岡山県生活衛生課）
家庭でできる食中毒予防の 6 つのポイント（厚生労働省）

保健所別報告患者数　2017年 22週(定点把握)　　(2017/05/29～2017/06/04)　　2017年6月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	13	0.15	2	0.09	1	0.06	8	0.53	－	－	－	－	－	－	2	0.20
RSウイルス感染症	2	0.04	－	－	1	0.09	－	－	1	0.14	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	34	0.63	10	0.71	1	0.09	6	0.60	10	1.43	1	0.25	－	－	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	1.11	25	1.79	19	1.73	1	0.10	2	0.29	3	0.75	1	0.50	9	1.50
感染性胃腸炎	350	6.48	137	9.79	62	5.64	69	6.90	15	2.14	31	7.75	12	6.00	24	4.00
水痘	23	0.43	7	0.50	3	0.27	1	0.10	－	－	－	－	8	4.00	4	0.67
手足口病	94	1.74	26	1.86	20	1.82	26	2.60	5	0.71	4	1.00	9	4.50	4	0.67
伝染性紅斑	4	0.07	－	－	－	－	4	0.40	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発疹	28	0.52	18	1.29	5	0.45	－	－	1	0.14	1	0.25	－	－	3	0.50
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	24	0.44	8	0.57	6	0.55	2	0.20	4	0.57	2	0.50	－	－	2	0.33
流行性耳下腺炎	14	0.26	9	0.64	1	0.09	－	－	1	0.14	－	－	－	－	3	0.50
急性出血性結膜炎	1	0.08	－	－	－	－	1	1.00	－	－					－	－
流行性角結膜炎	18	1.50	5	1.00	10	2.50	1	1.00	2	2.00					－	－
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	－	－	－	－					2	2.00	－	－	－	－
クラミジア肺炎	－	－	－	－	－	－					－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.20	1	1.00	－	－					－	－	－	－	－	－

(－ :　0　or　0.00)　　(空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数　2017年 22週（発生レベル設定疾患）　（ 2017/05/29～2017/06/04 ）　2017年6月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	13	0.15	2	0.09	1	0.06	8	0.53	－	－	－	－	－	－	2	0.20
咽頭結膜熱	34	0.63	10	0.71	1	0.09	6	0.60	10	1.43	1	0.25	－	－	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	1.11	25	1.79	19	1.73	1	0.10	2	0.29	3	0.75	1	0.50	9	1.50
感染性胃腸炎	350	6.48	137	9.79	62	5.64	69	6.90	15	2.14	31	7.75	12	6.00	24	4.00
水痘	23	0.43	7	0.50	3	0.27	1	0.10	－	－	－	－	8	4.00	4	0.67
手足口病	94	1.74	26	1.86	20	1.82	26	2.60	5	0.71	4	1.00	9	4.50	4	0.67
伝染性紅斑	4	0.07	－	－	－	－	4	0.40	－	－	－	－	－	－	－	－
百日咳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	24	0.44	8	0.57	6	0.55	2	0.20	4	0.57	2	0.50	－	－	2	0.33
流行性耳下腺炎	14	0.26	9	0.64	1	0.09	－	－	1	0.14	－	－	－	－	3	0.50
急性出血性結膜炎	1	0.08	－	－	－	－	1	1.00	－	－					－	－
流行性角結膜炎	18	1.50	5	1.00	10	2.50	1	1.00	2	2.00					－	－

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル３
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル２　　を示しています。

（－：　0　or　0.00 ）　（ 空白 ： 定点なし ）

感染症発生動向調査　週情報　　報告患者数　年齢別　　（ 2017年　第22週　 2017/05/29～2017/06/04 ）

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	13	-	-	2	1	-	2	1	-	-	-	1	1	-	-	3	-	1	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
咽頭結膜熱	34	-	5	10	7	7	3	1	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	-	-	3	1	9	9	16	6	6	6	-	3	-	1
感染性胃腸炎	350	5	32	68	38	38	16	21	23	10	14	10	32	5	38
水痘	23	1	1	2	2	4	2	4	-	1	-	2	3	1	-
手足口病	94	3	10	37	15	11	3	5	4	3	1	-	2	-	-
伝染性紅斑	4	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
突発性発疹	28	-	11	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	-	2	8	4	4	1	1	2	-	-	1	1	-	-
流行性耳下腺炎	14	-	-	-	1	2	2	7	1	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎	18	-	-	1	-	2	2	1	-	-	-	1	-	-	1	2	2	-	2	4

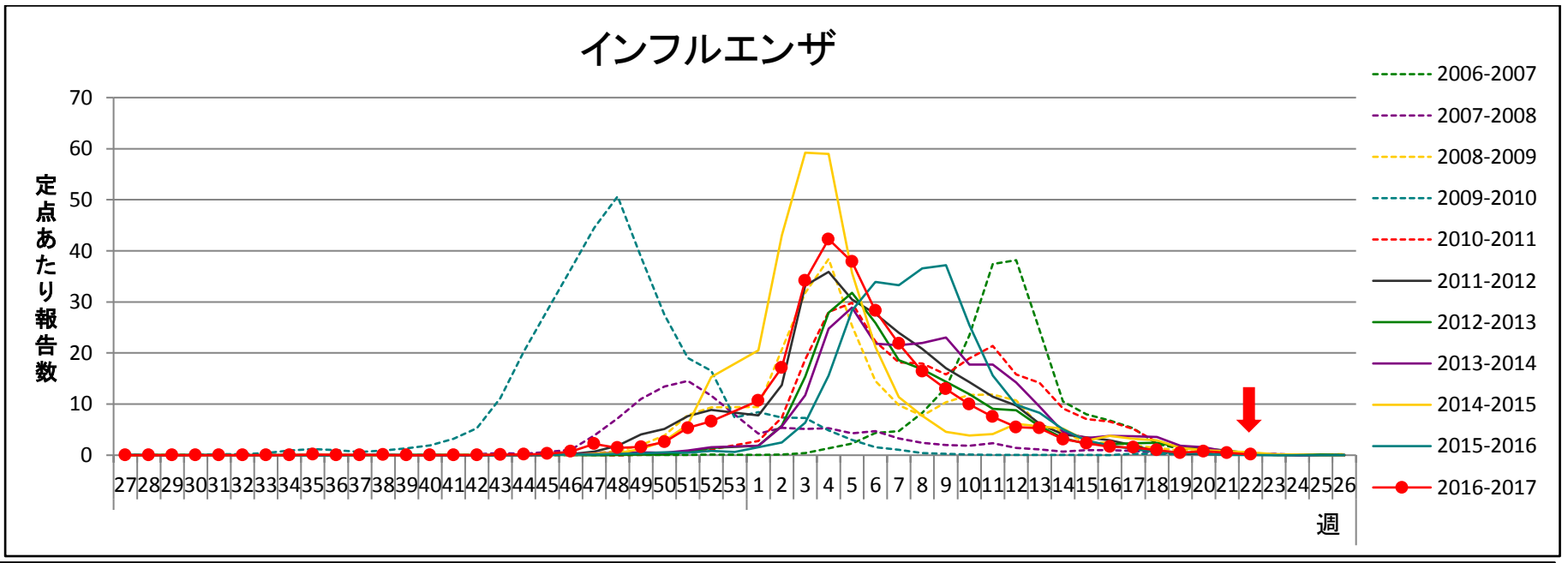
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

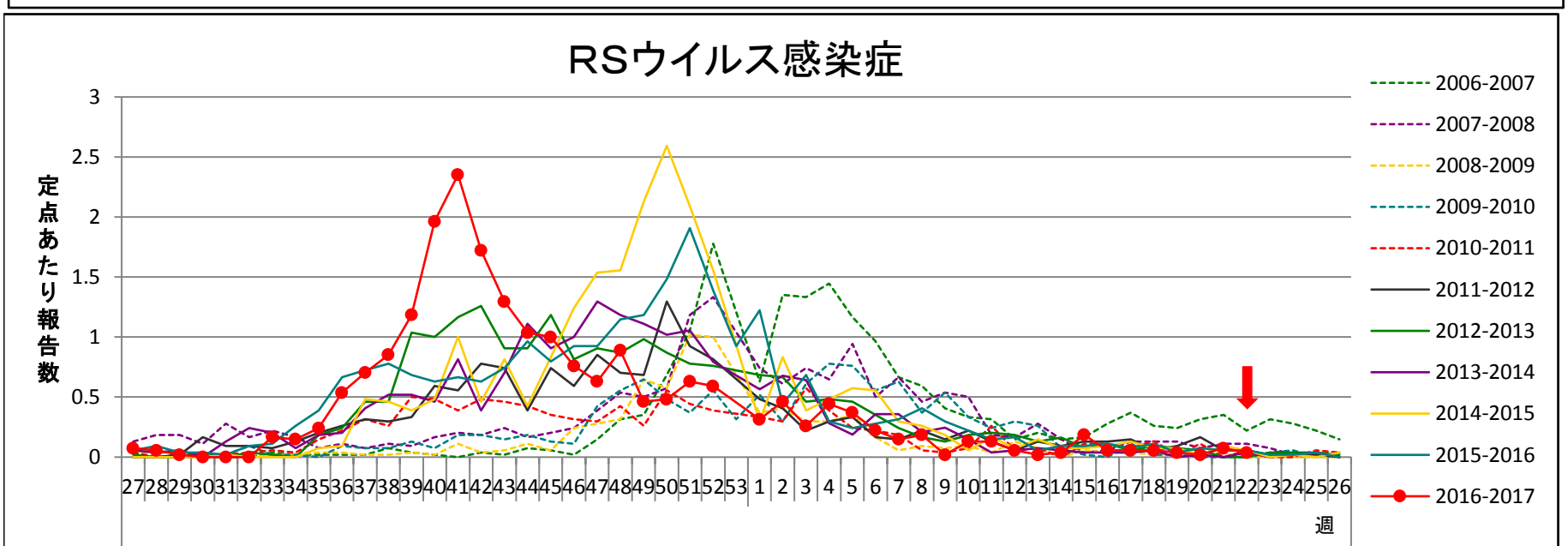
（－： 0 ）

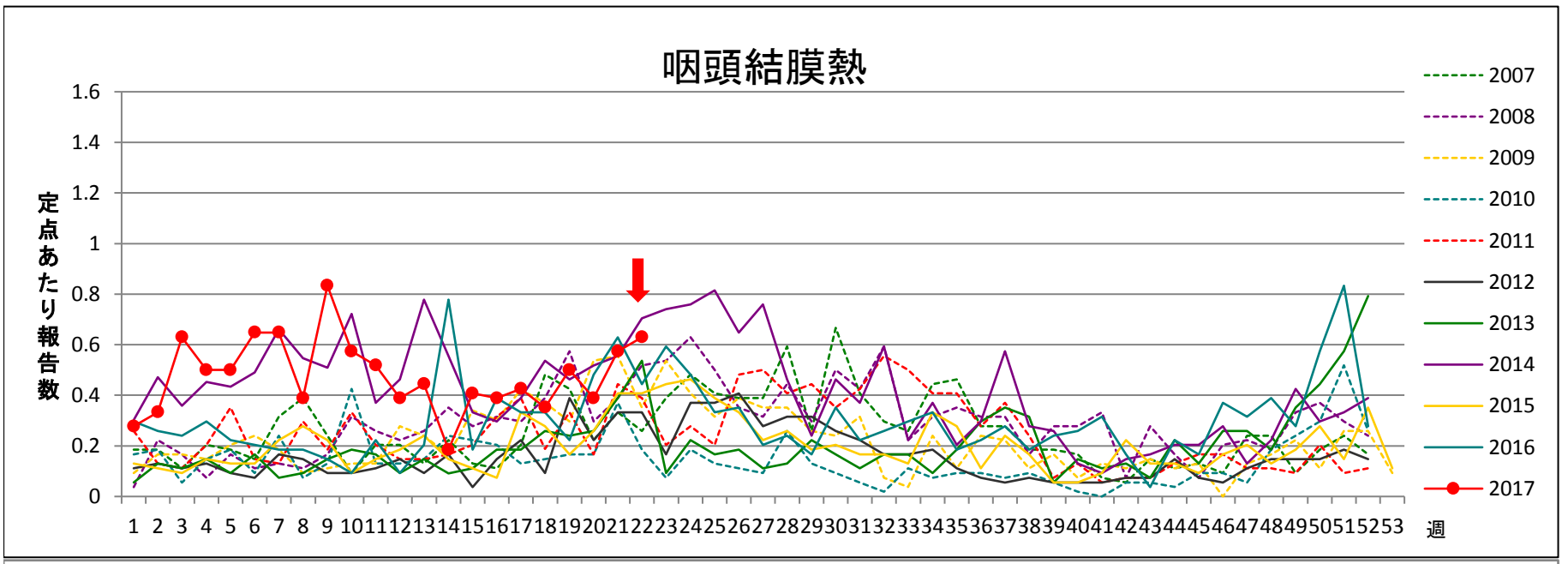
全数把握 感染症患者発生状況

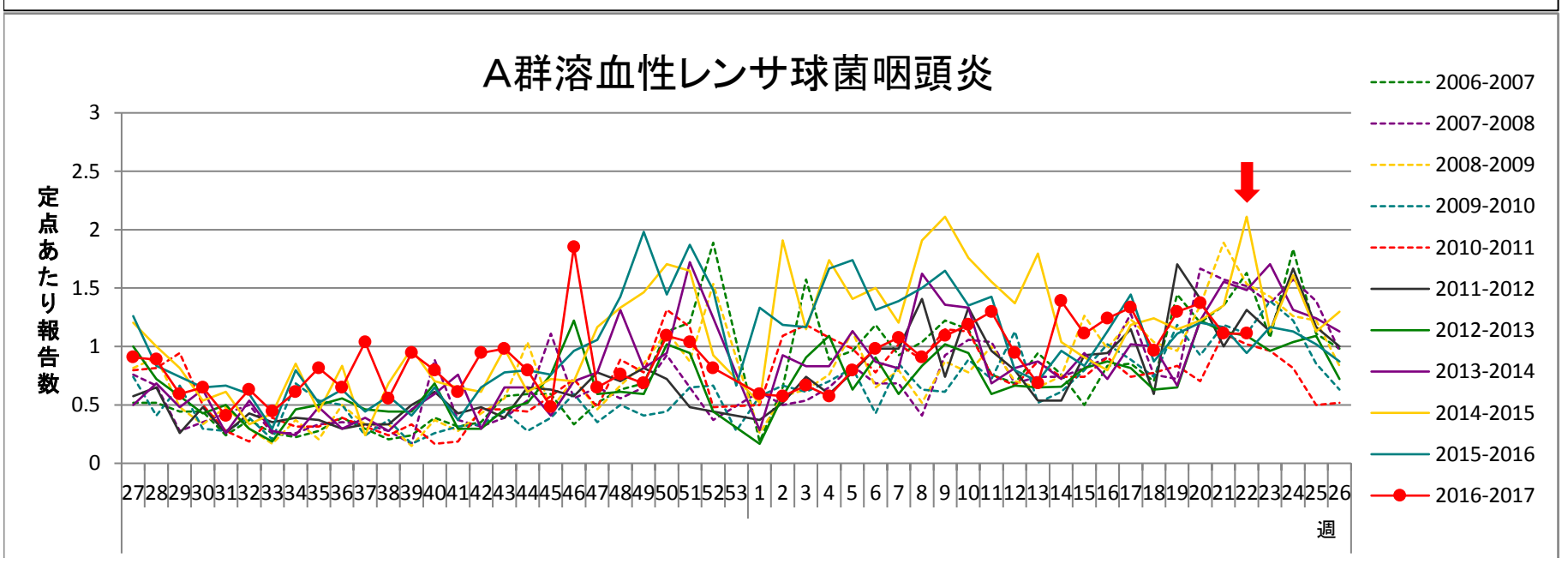
2017 年 22 週

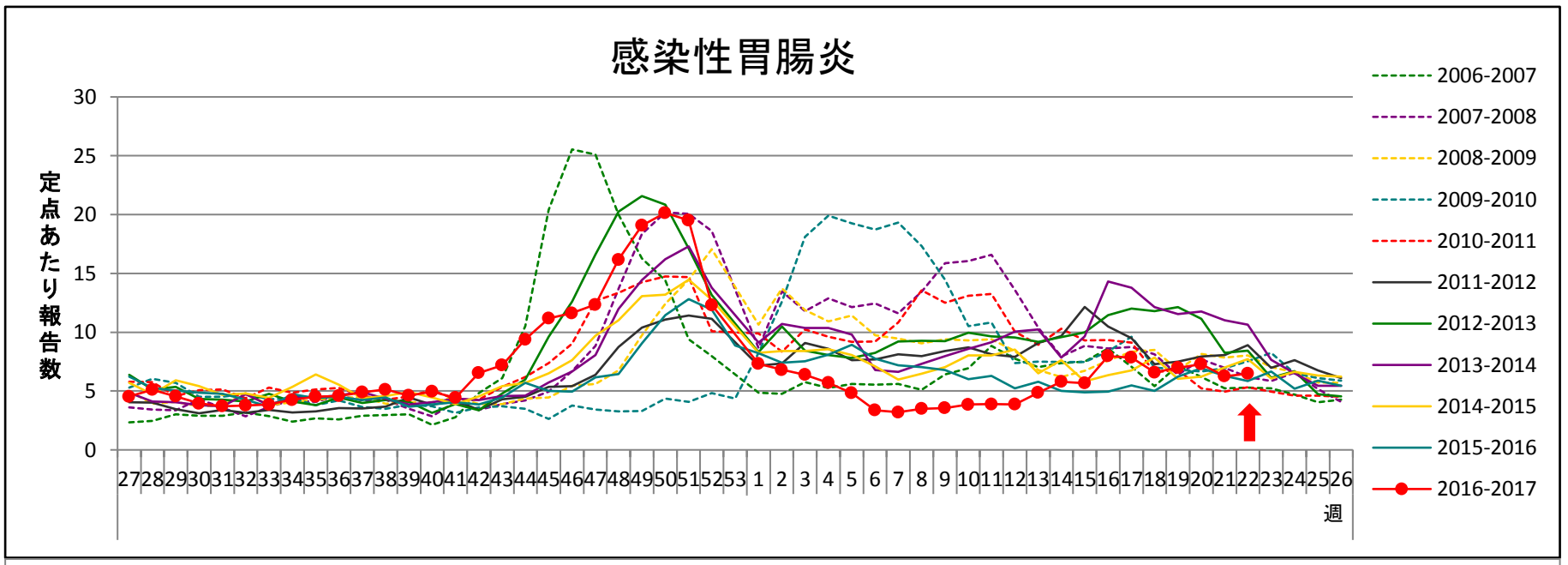
分類	疾病名	2017 今週	2017 累計	2016 昨年	疾病名	2017 今週	2017 累計	2016 昨年	疾病名	2017 今週	2017 累計	2016 昨年
一類	エボラ出血熱	–	–	–	クリミア・コンゴ出血熱	–	–	–	痘そう	–	–	–
	南米出血熱	–	–	–	ペスト	–	–	–	マールブルグ病	–	–	–
	ラッサ熱	–	–	–		–	–	–		–	–	–
二類	急性灰白髄炎	–	–	–	結核	2	144	311	ジフテリア	–	–	–
	重症急性呼吸器症候群	–	–	–	中東呼吸器症候群	–	–	–	鳥インフルエンザ（H5N1）	–	–	–
	鳥インフルエンザ（H7N9）	–	–	–		–	–	–		–	–	–
三類	コレラ	–	–	–	細菌性赤痢	–	1	–	腸管出血性大腸菌感染症	–	3	65
	腸チフス	–	–	–	パラチフス	–	–	–		–	–	–
四類	E型肝炎	–	1	2	ウエストナイル熱	–	–	–	A型肝炎	–	1	3
	エキノコックス症	–	–	–	黄熱	–	–	–	オウム病	–	–	–
	オムスク出血熱	–	–	–	回帰熱	–	–	–	キャサヌル森林病	–	–	–
	Q熱	–	–	–	狂犬病	–	–	–	コクシジオイデス症	–	–	–
	サル痘	–	–	–	ジカウイルス感染症	–	–	–	重症熱性血小板減少症候群	–	–	1
	腎症候性出血熱	–	–	–	西部ウマ脳炎	–	–	–	ダニ媒介脳炎	–	–	–
	炭疽	–	–	–	チクングニア熱	–	–	–	つつが虫病	–	–	2
	デング熱	–	–	1	東部ウマ脳炎	–	–	–	鳥インフルエンザ	–	–	–
	ニパウイルス感染症	–	–	–	日本脳炎	–	–	1	日本紅斑熱	–	–	4
	ハンタウイルス肺症候群	–	–	–	Bウイルス病	–	–	–	鼻疽	–	–	–
	ブルセラ症	–	–	–	ベネズエラウマ脳炎	–	–	–	ヘンドラウイルス感染症	–	–	–
	発しんチフス	–	–	–	ボツリヌス症	–	–	–	マラリア	–	–	–
	野兎病	–	–	–	ライム病	–	–	–	リッサウイルス感染症	–	–	–
	リフトバレー熱	–	–	–	類鼻疽	–	–	–	レジオネラ症	–	5	26
	レプトスピラ症	–	–	–	ロッキー山紅斑熱	–	–	–		–	–	–
五類	アメーバ赤痢	1	11	18	ウイルス性肝炎*3	–	3	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	–	4	28
	急性脳炎*4	–	3	11	クリプトスポリジウム症	–	–	–	クロイツフェルト・ヤコブ病	–	–	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	–	2	8	後天性免疫不全症候群	–	7	12	ジアルジア症	–	–	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	–	–	7	侵襲性髄膜炎菌感染症	–	–	–	侵襲性肺炎球菌感染症	1	19	32
	水痘（入院例に限る。）	–	1	3	先天性風しん症候群	–	–	–	梅毒	2	41	40
	播種性クリプトコックス症	–	–	2	破傷風	–	–	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	–	–	–
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	–	3	1	風しん	–	–	–	麻しん	–	–	–
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	–	–	–		–	–	–		–	–	–

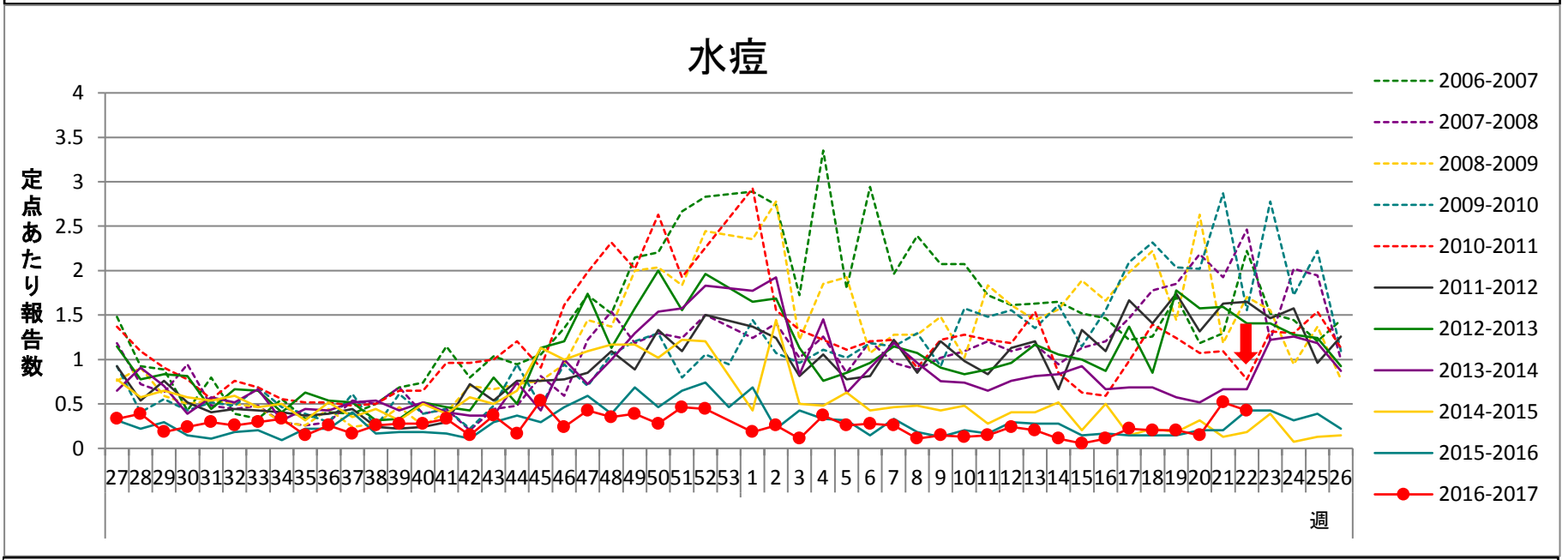

インフルエンザ
定点あたり報告数
70
60
50
40
30
20
10
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017

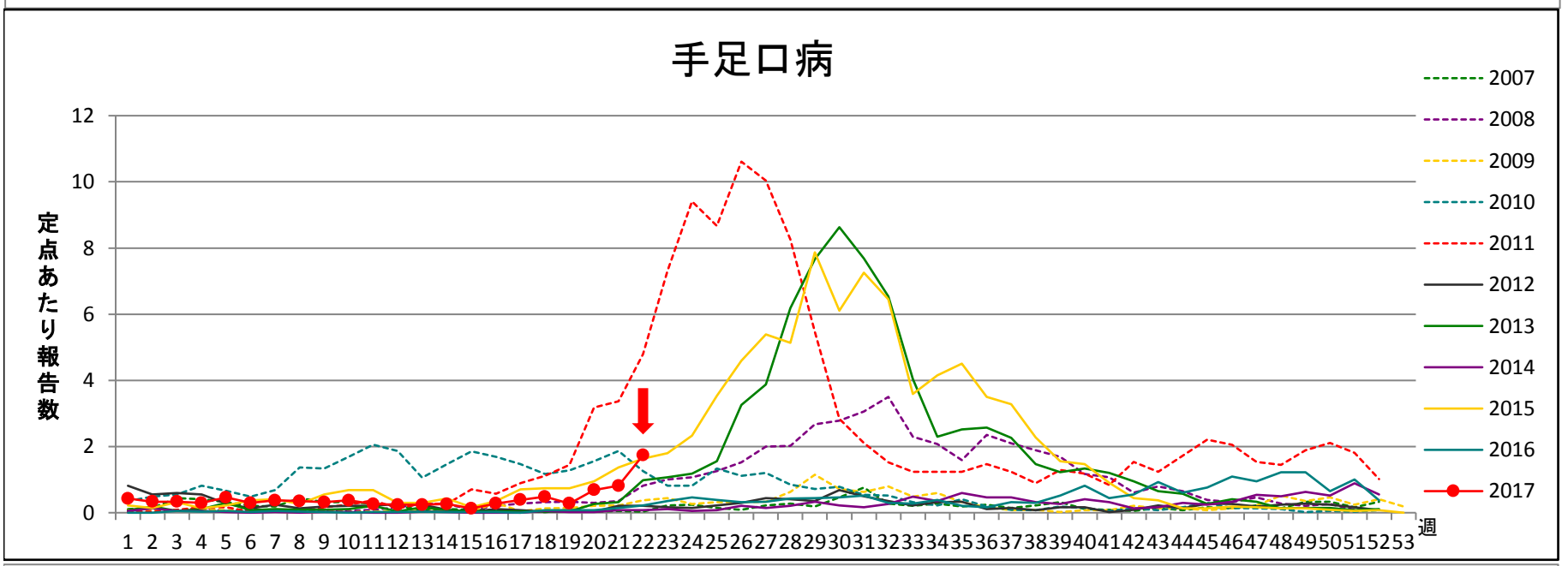

RSウイルス感染症
定点あたり報告数
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017

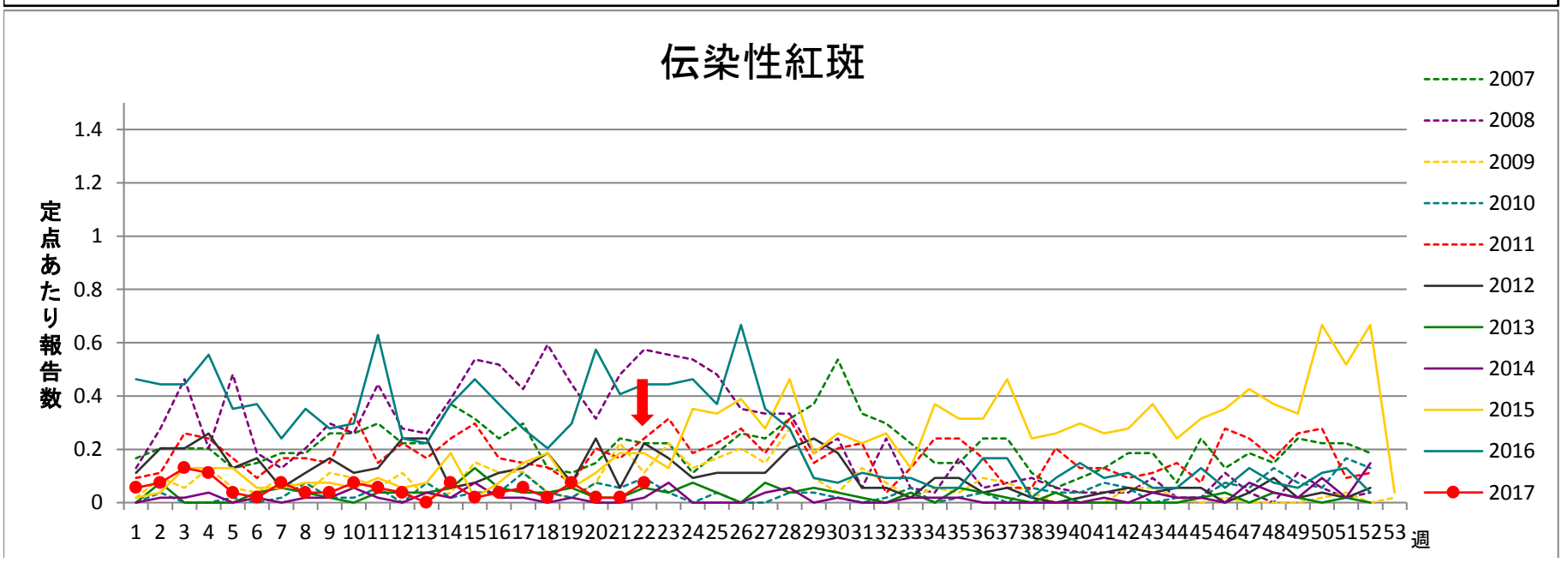

咽頭結膜熱
定点あたり報告数
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

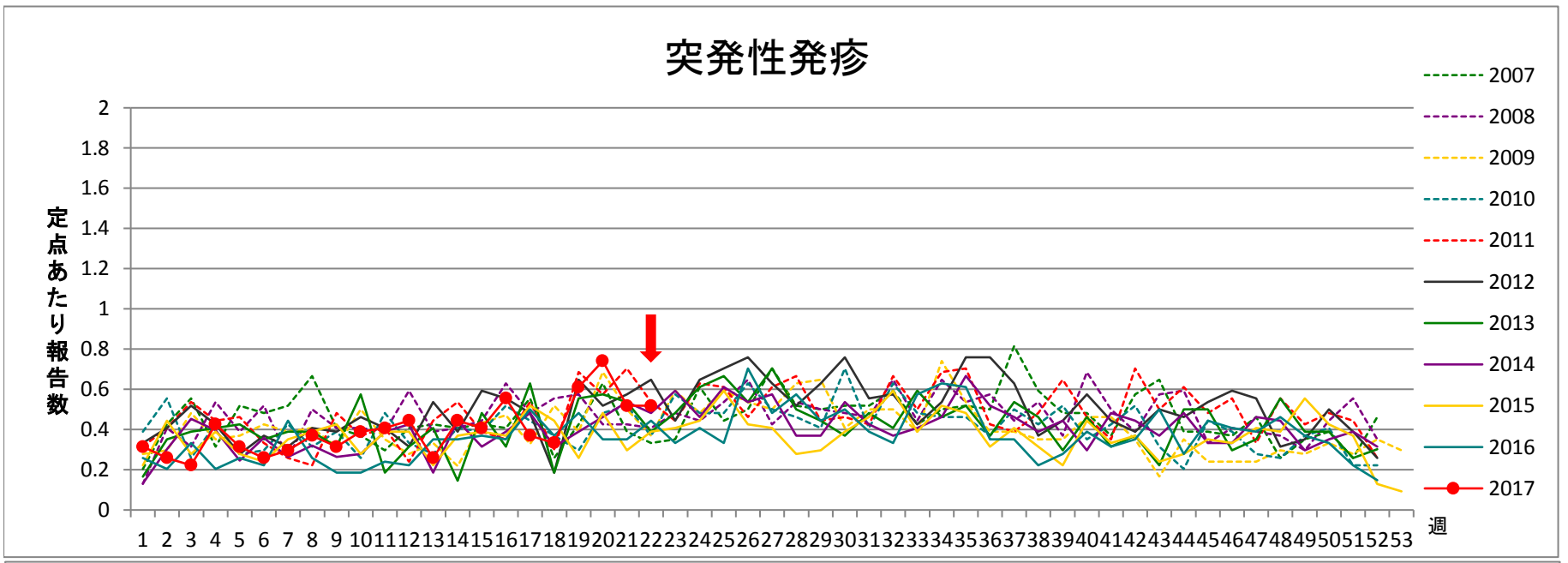

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点あたり報告数
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017

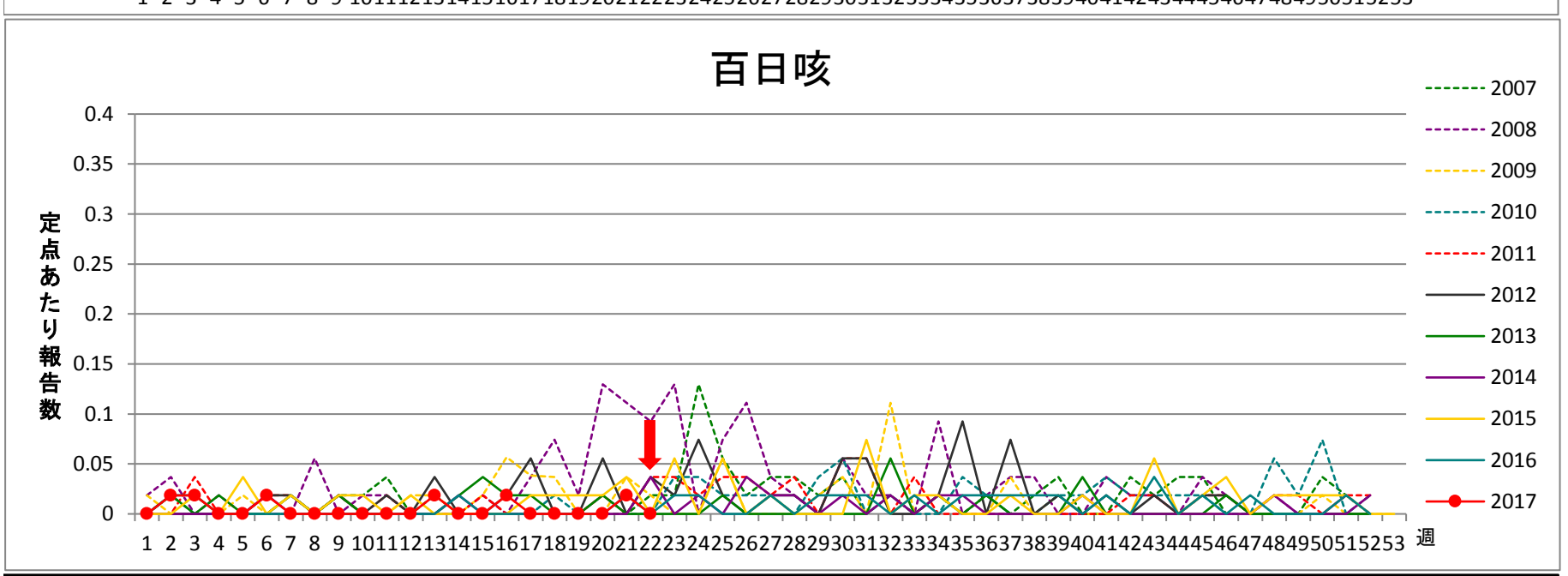

感染性胃腸炎
定点あたり報告数
0
5
10
15
20
25
30
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017

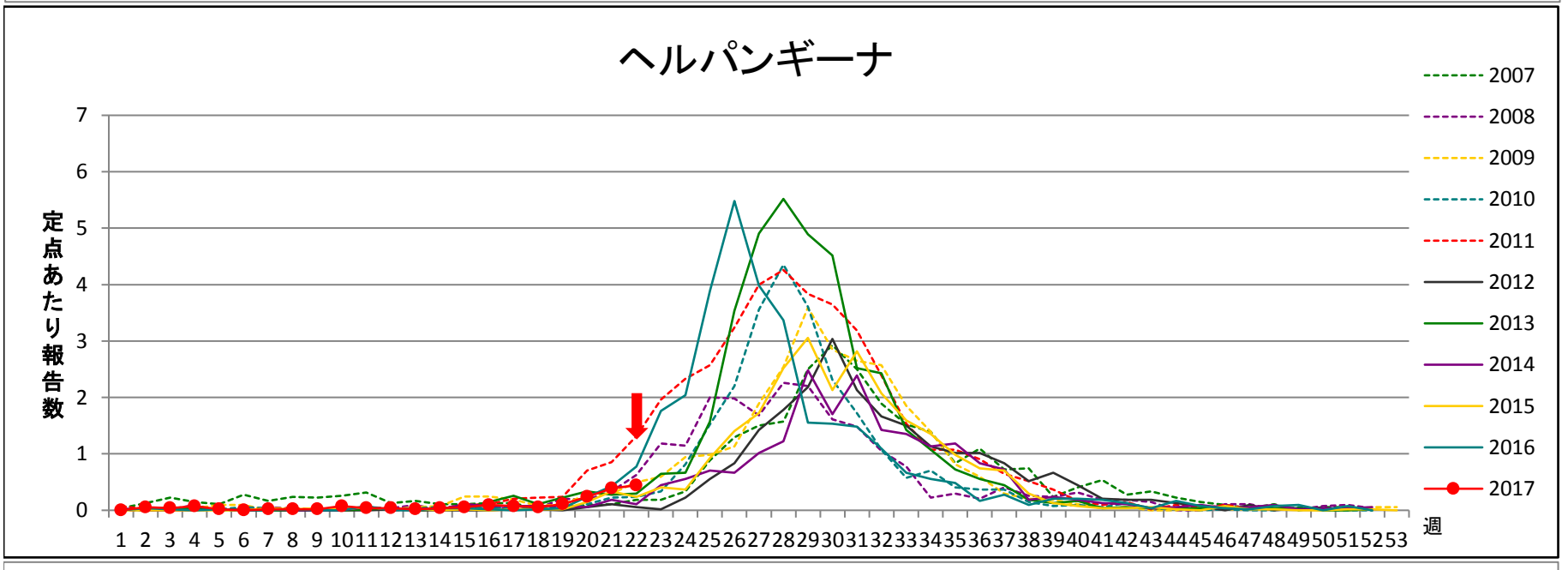

水痘
定点あたり報告数
0
0.5
1
1.5
2
2.5
3
3.5
4
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017

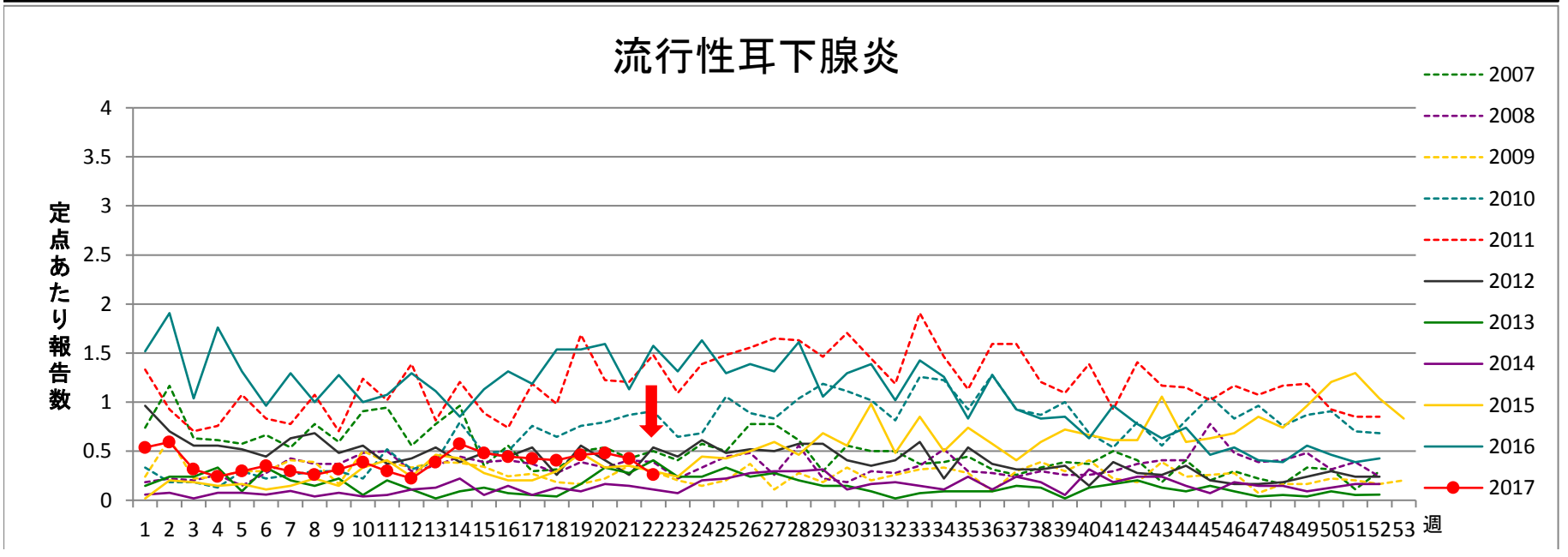

手足口病
定点あたり報告数
0
2
4
6
8
10
12
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

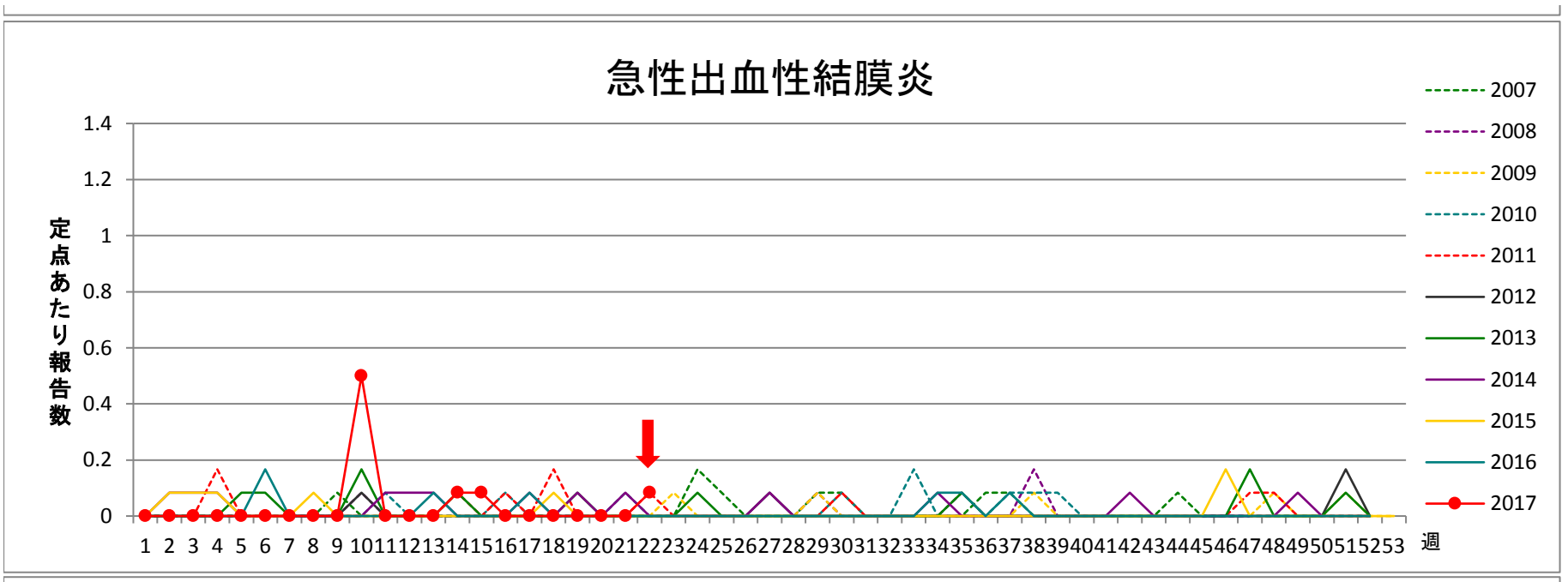

伝染性紅斑
定点あたり報告数
0
0.2
0.4
0.6
0.8
1
1.2
1.4
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

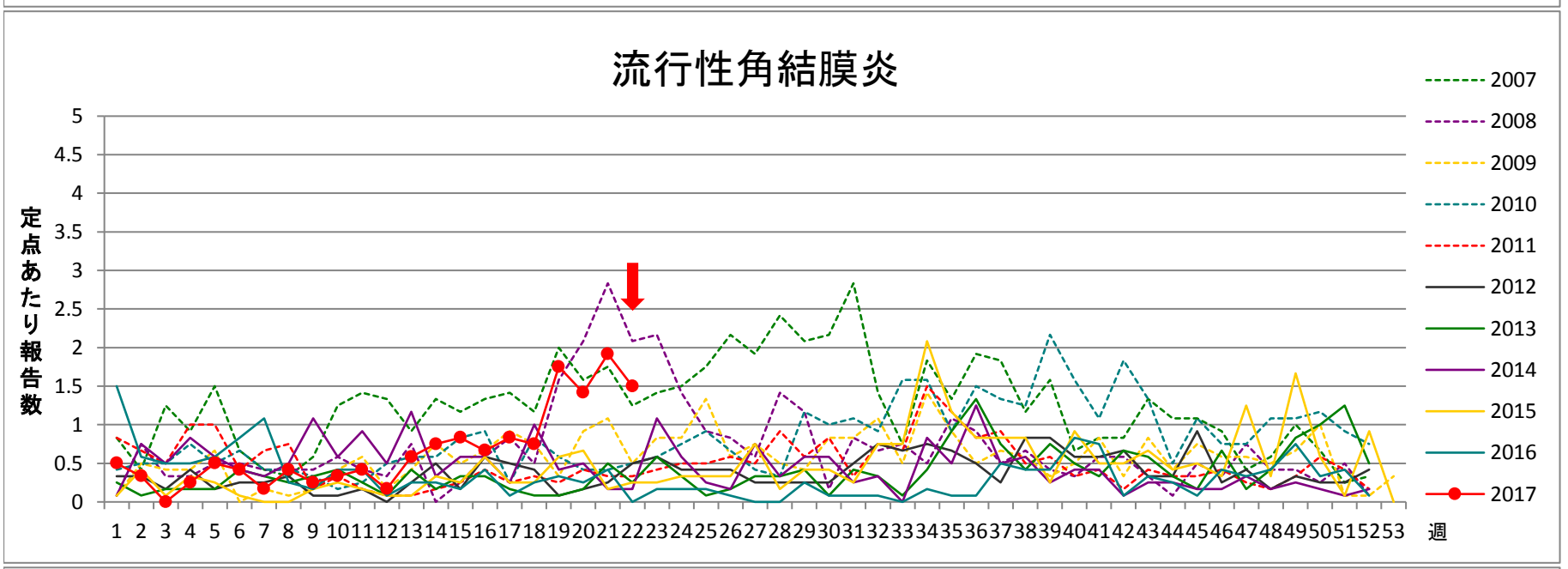

突発性発疹
定点あたり報告数
2
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

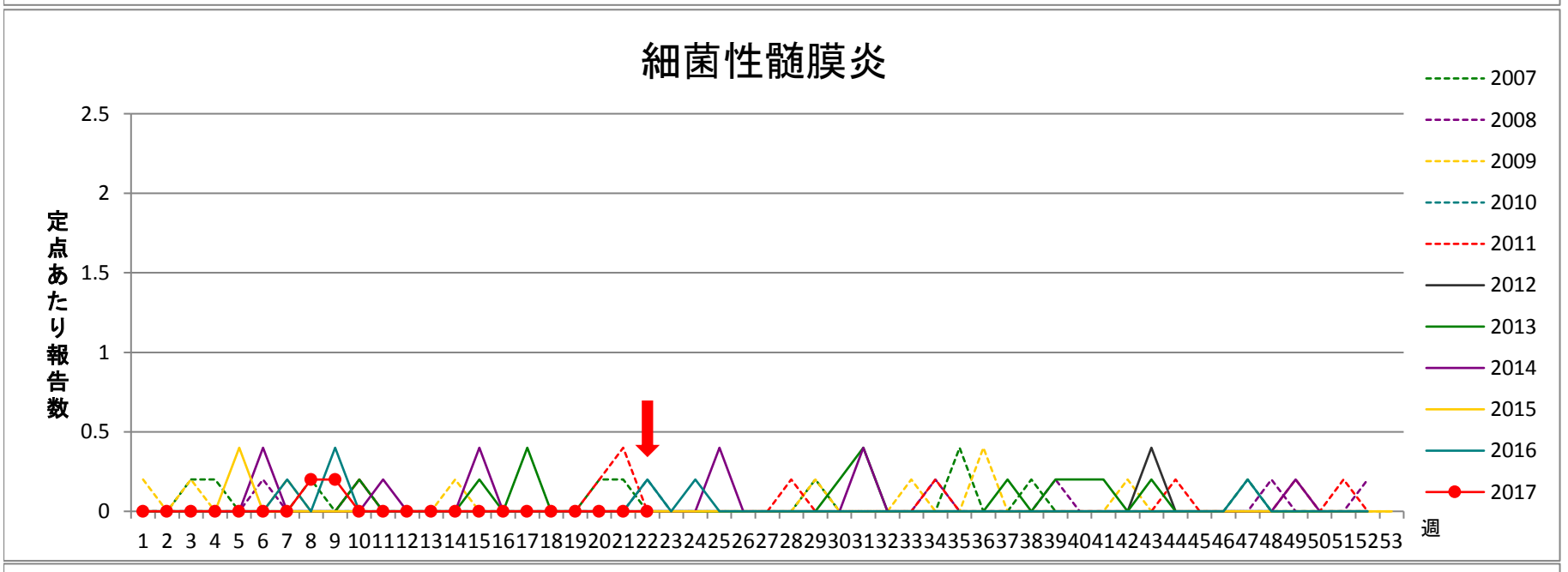

百日咳
定点あたり報告数
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

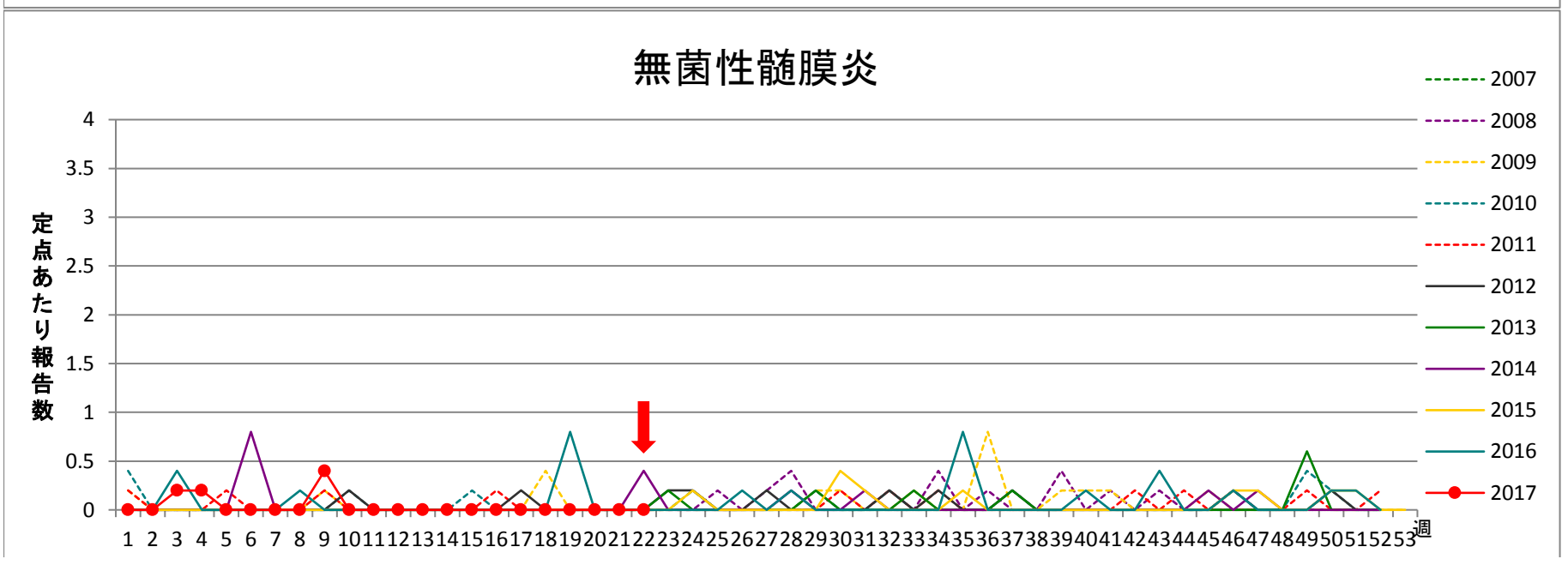

ヘルパンギーナ
定点あたり報告数
7
6
5
4
3
2
1
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

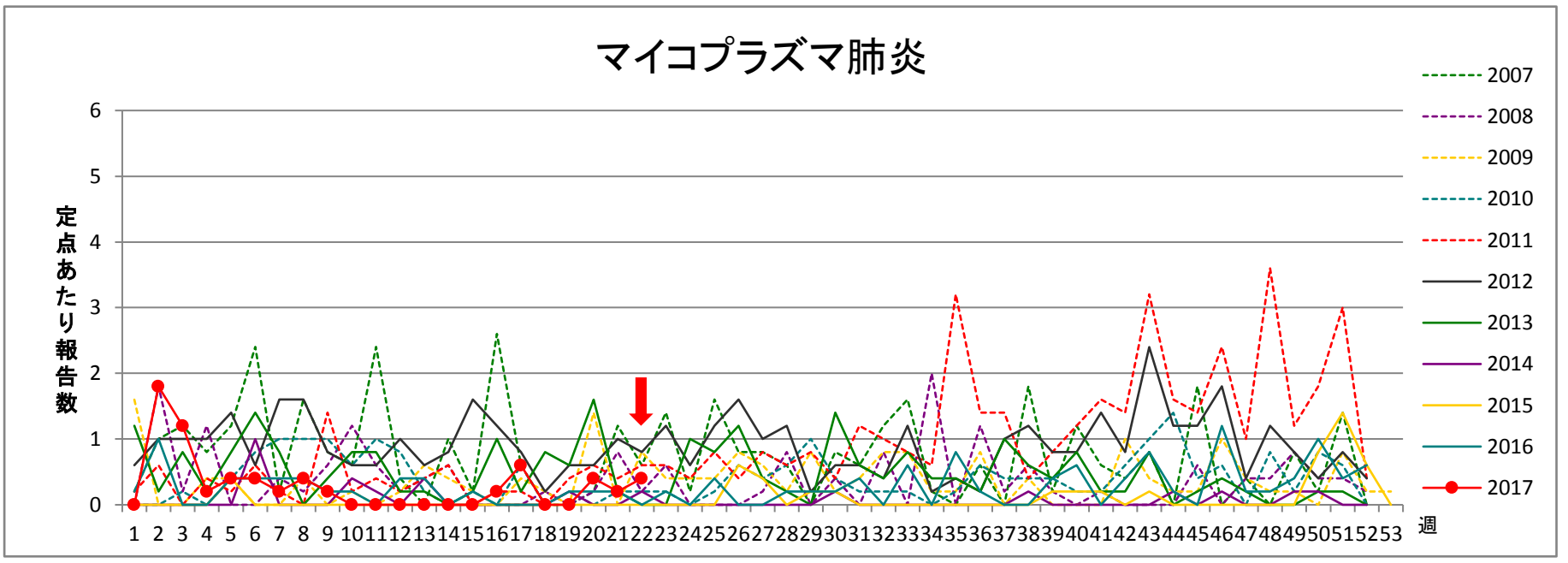

流行性耳下腺炎
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

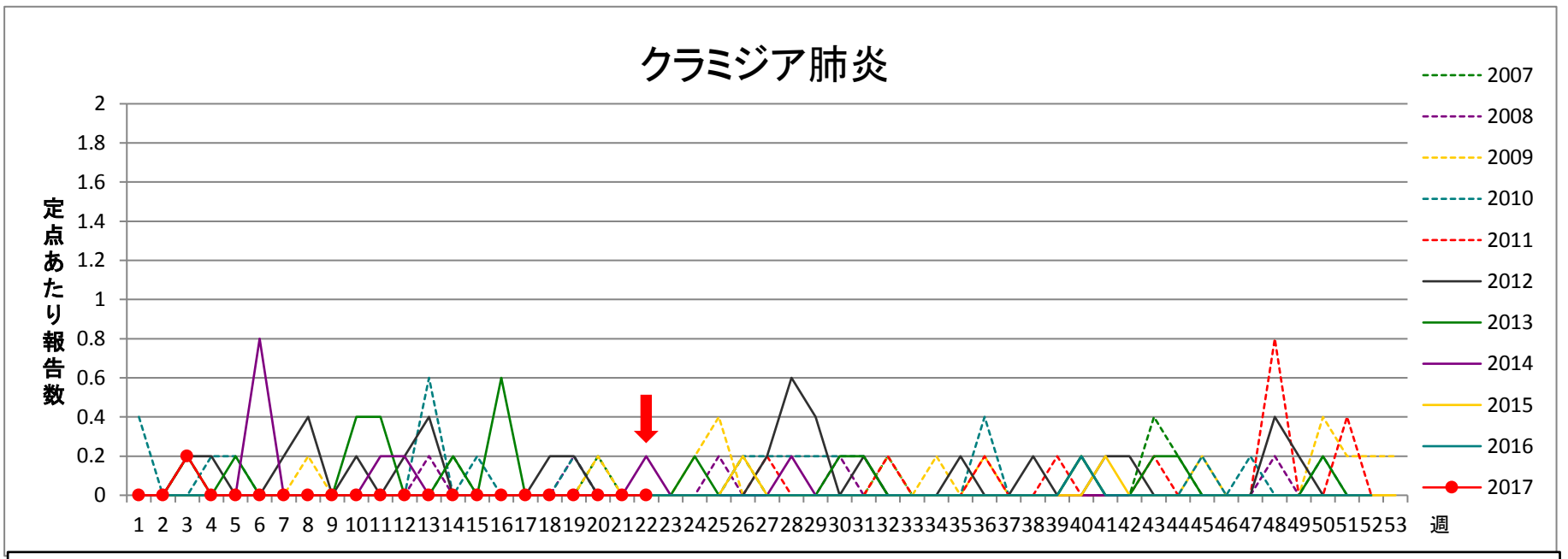

急性出血性結膜炎
定点あたり報告数
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017

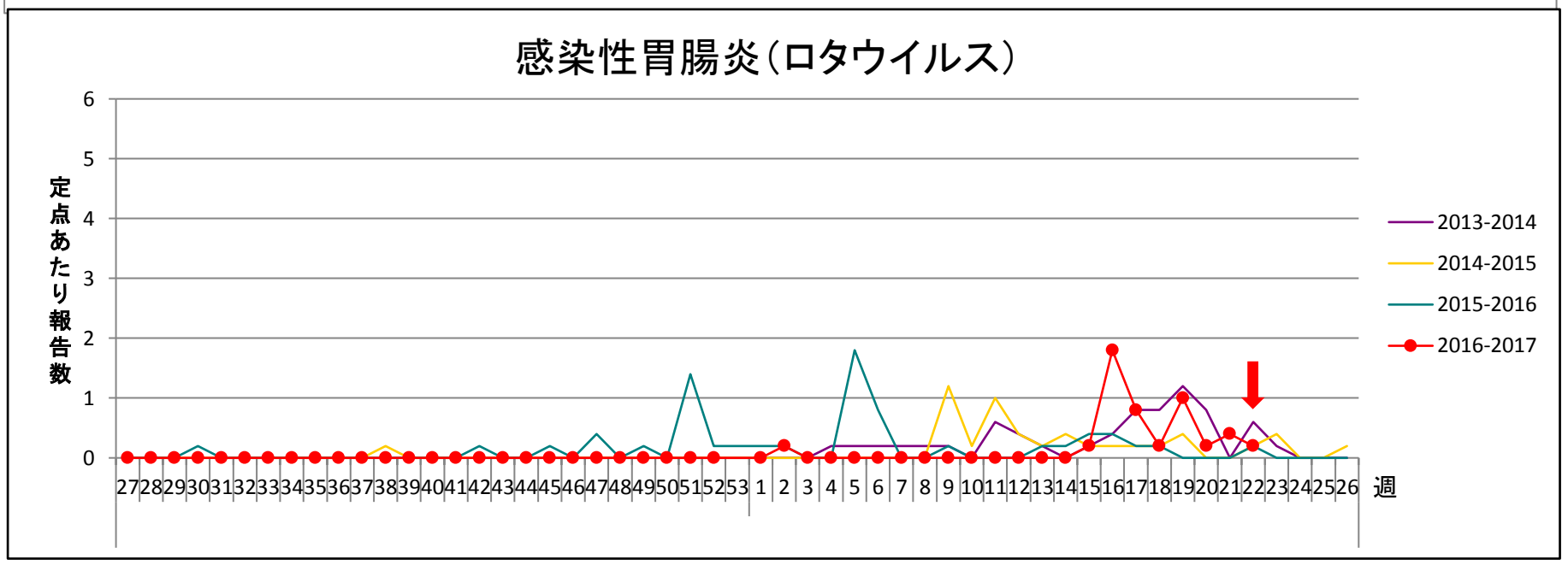

流行性角結膜炎
定点あたり報告数
5
4.5
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


細菌性髄膜炎
定点あたり報告数
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


無菌性髄膜炎
定点あたり報告数
4
3.5
3
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


マイコプラズマ肺炎
定点あたり報告数
0
1
2
3
4
5
6
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


クラミジア肺炎
定点あたり報告数
0
0.2
0.4
0.6
0.8
1
1.2
1.4
1.6
1.8
2
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
週
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017


感染性胃腸炎（ロタウイルス）
定点あたり報告数
0
1
2
3
4
5
6
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
週
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017